

## 4 目標及びデータソース一覧

### <表の見方>

- ・策定時の欄に示す（ ）内の数値は、H22年以外の場合に（H 年）と記載しています。
- ・現状値の欄に示す（ ）内の数値は、データソースの統計データ年（年度）を記載しています。
- ・目標値の欄に示す（ ）内の数値は、評価年度を記載しており、評価年度に把握できる直近値で評価します。
- ※ 他計画の目標にもなっている目標値については、（ ）内に他計画の評価年度を記載しているため、統計データ年（年度）とは異なります。
- ※ 他計画の目標にもなっている目標値の評価については、平成34年度時点で把握できる直近値を用いて進捗状況の評価します。

                    ：新たな目標値を設定した指標

### 総合目標

No	目標項目		現状値 (H 年(年度))	目標値 (H34年度)	新たな目標値の 設定理由	データソース
1	健康寿命の延伸 (日常生活に制限のない期間の平均の延伸)	男性	平均寿命0.22/年 (H22→H27年) 健康寿命0.13/年 (H22→H28年)	平均寿命の増加分 を上回る健康寿命 の増加	—	厚生労働省算出
		女性	平均寿命0.14/年 (H22→H27年) 健康寿命0.27/年 (H22→H28年)		—	
2	健康格差の縮小 (日常生活に制限のない期間の平均の市町村格 差の縮小)	男性	2.25年 (H25年)	市町村格差の縮小	—	千葉県算出
		女性	3.11年 (H25年)		—	

### I 個人の生活習慣改善とそれを支える環境の整備

#### (1) 栄養・食生活

No	目標項目		現状値 (H 年(年度))	目標値 (H34年度)	新たな目標値の 設定理由	データソース
1	適正体重を維持している者 の増加(肥満BMI25以上・ やせBMI18.5未満の減少)	20～60歳代男性の肥満者割合	28.7% (H27年)	28.0%	—	県民健康・栄養調査
		40～60歳代女性の肥満者割合	23.4% (H27年)	19.0%	—	
		20歳代女性のやせの者の割合	16.7% (H27年)	15.0%	—	
2	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2 回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加	全体	51.2% (H29年度)	80.0%	—	生活習慣アンケート
		一人暮らしの者	41.2% (H29年度)		—	
3	1週間に朝食を摂る日が6～7日の者の割合の増 加	30～40歳代男性	61.1% (H29年度)	増加傾向へ	—	生活習慣アンケート
		20歳代女性	54.3% (H29年度)		—	
4	食塩摂取量の減少（1日あたり）	男性	10.9g (H27年度)	8.0 g	「食事摂取基準 2015」の改正に基 づき変更	県民健康・栄養調査
		女性	9.4g (H27年度)	7.0 g		
5	野菜と果物の摂取量の増加 (1日あたり)	野菜摂取量の平均値	308 g (H27年度)	350g	—	県民健康・栄養調査
		果物摂取量100g未満の者の割合	57.1% (H27年度)	30.0%	—	
6	健康ちば協力店登録数の増加		1,013店舗 (H28年度)	1,100店舗	現状値が目標値に 達していないた め、H34年度まで 継続	栄養指導事業等実績報告
7	利用者に応じた食事の計 画、調理及び栄養の評価改 善を実施している特定給食 施設の割合の増加	参考値:管理栄養士・栄養士を配置し ている施設の割合	82.7% (H28年度)	90.0%	—	衛生行政報告例

(2) 身体活動・運動

No	目標項目			現状値 (H 年(年度))	目標値 (H34年度)	新たな目標値の 設定理由	データソース
1	日常生活における歩数の増加	20歳以上 (国は20～64歳)	男性	7253歩 (H27年)	8,800歩	—	県民健康・栄養調査
			女性	6821歩 (H27年)	7,700歩	—	
	日常生活における歩数の増加	上記のうち70歳以上 (国は65歳以上)	男性	6,023歩 (H27年)	6,600歩	—	
			女性	4,815歩 (H27年)	5,600歩	—	
2	運動習慣者の割合の増加	40～64歳	男性	20.1% (H27年度)	28%	—	特定健診の標準的 質問項目 附表57
			女性	17.9% (H27年度)	27%	—	
	運動習慣者の割合の増加	65歳以上	男性	31.3% (H27年度)	38%	—	
			女性	27.9% (H27年度)	33%	—	
3	ウォーキングロード、地域独自の体操等を紹介している市町村の数の増加(参考値)			50市町村 (H28年度)	54市町村	—	県HP

(3) 休養

No	目標項目			現状値 (H 年(年度))	目標値 (H34年度)	新たな目標値の 設定理由	データソース
1	睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少			27.0% (H29年度)	20%以下	—	生活習慣アンケート
2	睡眠で十分休養がとれている者の割合の増加(参考値) 40～74歳			44.0% (H27年度)	70.0%	—	特定健診の標準的 質問項目 附表67
3	週労働時間60時間以上の雇用者の割合の減少			11.1% (H29年度)	5.0% (H32年度)	—	生活習慣アンケート

(4) 飲酒

No	目標項目			現状値 (H 年(年度))	目標値 (H34年度)	新たな目標値の 設定理由	データソース
1	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者(一日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者)の割合の減少		男性	19.8% (H29年度)	18.6%	—	生活習慣アンケート
			女性	26.2% (H29年度)	20.7%	—	
2	未成年者の飲酒をなくす	15歳～19歳	男子	2.4% (H29年度)	0%	—	生活習慣アンケート
			女子	2.8% (H29年度)	0%	—	
3	妊娠中の飲酒をなくす			1.8% (H28年度)	0%	現状値が目標値に達していないため、H34年度まで継続	妊娠届出時の聞き取り(協力できる市町村のみ)調査

(5) 喫煙

No	目標項目		現状値 (H 年(年度))	目標値 (H34年度)	新たな目標値の 設定理由	データソース	
1	成人の喫煙率の減少	男性	22.0% (H29年度)	20.0%	—	生活習慣アンケート	
		女性	6.5% (H29年度)	5.0%	—		
2	未成年者の喫煙をなくす	15歳～19歳	男子	1.2% (H29年度)	0%	—	生活習慣アンケート
		女子	0.9% (H29年度)	0%	—		
3	妊娠中の喫煙をなくす		2.2% (H28年度)	0%	—	妊娠届出時の聞き取り (協力できる市町村の み) 調査	
4	禁煙の施設		行政(県)	99.4% (H29年度)	100%	—	県施設アンケート
			行政(市町村)	91.4% (H29年度)	100%	—	
			医療機関	82.5% (H26年)	100%	—	厚生労働省 「医療施設調査(静態調 査)」
5	受動喫煙の機会を有する者 の割合の減少	職場	33.1% (H27年度) ※1	受動喫煙のない職 場の実現 (H32年) ※2	—	生活習慣アンケート	
		家庭	8.1% (H27年度) ※1	3.0% ※2	—		
		飲食店	58.7% (H27年度) ※1	21.0% ※2	—		
6	禁煙外来の増加(医療機関数)		523 (H29年5月)	増加	—	関東信越厚生局「施設基 準の届出状況」	

※1 平成29年度生活習慣に関するアンケート調査において、調査方法に変更があったため、平成27年度データを現状値とする。

※2 昨今の受動喫煙対策に関わる動向を踏まえ、必要に応じて目標の変更を検討する。

(6) 歯・口腔の健康

No	目標項目		現状値 (H 年(年度))	目標値 (H34年度)	新たな目標値の 設定理由	データソース
1	60歳代における咀嚼良好者の増加		69.6% (H29年度)	80.0%	—	生活習慣アンケート
2	80歳以上で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加		33.3% (H29年度)	50.0%以上 (H35年度)	目標を達したこ とから、千葉県歯 ・口腔保健計画(H 30～35年度)の目 標値に変更	生活習慣アンケート
3	40歳代で喪失歯のない者の割合の増加		72.8% (H29年度)	75.0%	—	生活習慣アンケート
4	40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少		45.0% (H28年度)	25.0%	—	成人歯科健康診査
5	60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少		53.7% (H28年度)	45.0%	—	成人歯科健康診査
6	3歳児でむし歯がない者の割合が80%以上である市町村の増加		36市町村 (H28年度)	54市町村 (H35年度)	目標を達したこ とから、千葉県歯 ・口腔保健計画(H 30～35年度)の目 標値に変更	3歳児歯科健康診査
7	12歳児(中1)の一人平均むし歯数が1.0歯未満である市町村の増加		35市町村 (H28年度)	54市町村 (H35年度)	目標を達したこ とから、千葉県歯 ・口腔保健計画(H 30～35年度)の目 標値に変更	児童生徒定期健康診断結 果
8	過去1年間に歯科健診を受診した者の割合の増加(20歳以上)		56.5% (H29年度)	65.0%	—	生活習慣アンケート

## II ライフステージに応じた心身機能の維持・向上

### (1) こころの健康づくり

No	目標項目		現状値 (H 年(年度))	目標値 (H34年度)	新たな目標値の 設定理由	データソース
1	自殺者の減少(人口10万人当たり)	男性	23.9 (H28年)	18.6 (H39年度)	目標を達したことから、千葉県自殺対策推進計画(H30～39年度)の目標値に変更	人口動態統計の概況 (千葉県ホームページ)
		女性	9.6 (H28年)	7.4 (H39年度)		
2	気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の割合の減少		15.3% (H29年度)	13.3%	—	生活習慣アンケート
3	メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合の増加		62.6% (H29年度)	100% (H32年)	—	生活習慣アンケート
4	自分には良いところがあると思う児童の増加	小学校6年生	77.0% (H29年度)	増加へ	—	全国学力・学習状況調査

### (2) 次世代の健康づくり

No	目標項目		現状値 (H 年(年度))	目標値 (H34年度)	新たな目標値の 設定理由	データソース
1	全出生数中の低出生体重児の割合の減少		9.2% (H28年)	減少傾向へ	現状値が目標に達していないため、H34年度まで継続	厚生労働省 「人口動態統計」
2	肥満傾向にある子どもの割合の減少 (小学5年生の中等度・高度肥満児の割合)	男子	4.6% (H28年度)	減少傾向へ	現状値が目標に達していないため、H34年度まで継続	全国体力運動能力、運動習慣等調査
		女子	3.1% (H28年度)			
3	朝食を毎日食べている子どもの割合の増加(小学校6年生)		86.9% (H29年度)	100%に近づける	—	全国学力・学習状況調査
4	学校の運動部や地域のスポーツクラブに入っている子どもの割合(スポーツ少年団を含む)	男子	75.5% (H28年度)	増加傾向へ	—	全国体力運動能力、運動習慣等調査
		女子	54.0% (H28年度)			
5	毎日どのくらい寝ていますか(8時間以上の者の割合)	男子 小学校5年生	56.7% (H28年度)	増加傾向へ	—	全国体力運動能力、運動習慣等調査
		女子 小学校5年生	58.9% (H28年度)			
6	月～金の間1日にどれくらいの時間テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりしますか(3時間)		小学校6年生 34.5% (H29年度)	増加を抑制	—	全国学力・学習状況調査
7	月～金の間1日にどれくらいの時間テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式ゲーム、携帯)		小学校6年生 33.1% (H29年度)	増加を抑制	—	全国学力・学習状況調査
8	家の人と学校での出来事について話をする割合の増加	小学校6年生	78.6% (H29年度)	増加傾向へ	—	全国学力・学習状況調査
		中学校3年生	73.8% (H29年度)			

### (3) 高齢者の健康づくり

No	目標項目		現状値 (H 年(年度))	目標値 (H34年度)	新たな目標値の 設定理由	データソース
1	介護予防に資する住民主体の通いの場へ参加する者の増加		37,526人 (H27年度)	50,000人	千葉県高齢者保健福祉計画(H30～32年度)と整合性を図り、新たに目標値を設定	介護予防・日常生活支援総合事業実施状況調査
2	低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の増加の抑制		15.1% (H27年)	22.0%	—	県民健康・栄養調査
3	足腰に痛みのある高齢者の割合の減少 (千人当たり)	男性	211人 (H28年)	177人	—	厚生労働省 「国民生活基礎調査」
		女性	269人 (H28年)	258人	—	
4	ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を認知している県民の割合の増加		42.0% (H29年度)	80.0%	—	生活習慣アンケート
5	高齢者(60歳以上)の社会参加の促進(就業または何らかの地域活動をしている高齢者の割合の増加)	男性	67.8% (H29年度)	80.0% (H32年度)	千葉県高齢者保健福祉計画(H30～32年度)と整合性を図り、目標値を変更	生活習慣アンケート
		女性	63.2% (H29年度)			

III 生活習慣病の発症予防と重症化防止

(1) がん

No	目標項目		現状値 (H 年(年度))	目標値 (H34年度)	新たな目標値の 設定理由	データソース	
1	75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)		76.3 (H27年)	65.7 (H35年度)	千葉県がん対策推進計画（H30～35年度）の目標値に変更	厚生労働省 「人口動態特殊報告」	
2	がん検診の受診率の向上	胃がん (40～69歳)	男性	47.2% (H28年)		50% (H32年度)	厚生労働省 「国民生活基礎調査」
			女性	36.9% (H28年)			
		肺がん (40～69歳)	男性	52.8% (H28年)		50% (H32年度)	
			女性	46.8% (H28年)			
		大腸がん (40～69歳)	男性	46.3% (H28年)		50% (H32年度)	
			女性	42.7% (H28年)			
子宮頸がん（20～69歳）		44.2% (H28年)	50% (H32年度)				
乳がん（40～69歳）		49.9% (H28年)	50% (H32年度)				
3	精密検査受診率の向上	胃がん		82.4% (H26年度)	90% (H35年度)	地域保健・健康増進事業 報告	
		肺がん		78.3% (H26年度)	90% (H35年度)		
		大腸がん		54.8% (H26年度)	90% (H35年度)		
		子宮頸がん		88.8% (H26年度)	90% (H35年度)		
		乳がん		68.2% (H26年度)	90% (H35年度)		

(2) 循環器疾患

No	目標項目		現状値 (H 年(年度))	目標値 (H34年度)	新たな目標値の 設定理由	データソース	
1	脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)	男性	35.8 (H27年)	40.2	—	厚生労働省 「人口動態特殊報告」	
		女性	21.7 (H27年)	25.0	—		
2	急性心筋梗塞の年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)	男性	17.3 (H27年)	17.5	—	厚生労働省 「人口動態特殊報告」	
		女性	6.5 (H27年)	7.5	—		
3	高血圧の改善 (収縮期血圧の中央値の低下)	男性 (40～74歳)	129mmHg (H27年度)	126mmHg	—	特定健診・特定保健指導 に係るデータ分析	
		女性 (40～74歳)	127mmHg (H27年度)	124mmHg	—		
4	脂質異常症の減少	LDL-C160mg/dL 以上の者	男性 (40～74歳)	9.9% (H27年度)	6.9%	—	特定健診・特定保健指導 に係るデータ分析
			女性 (40～74歳)	15.6% (H27年度)	10.7%	—	
5	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群 の割合の減少（平成20年度と比べて25%減 少）	男性 (40～74歳)	44.6% (H27年度)	33.2%	現状値が目標値に 達していないた め、H34年度まで 継続	特定健診・特定保健指導 に係るデータ分析	
		女性 (40～74歳)	14.8% (H27年度)	13.0%			
6	特定健康診査・特定保健指 導の実施率の向上	国保	特定健診	38.7% (H27年度)	60.0%	—	医療費適正化計画進捗状 況（厚生労働省より提供 健康福祉の取組と医療 費の見込みに関 する計画（医療費 適正化計画）（H 30～35年度）の目 標値に変更
			特定保健指導	19.2% (H27年度)	60.0%	—	
	特定健康診査・特定保健指 導の実施率の向上	全体	特定健診	52.9% (H27年度)	70% (H35年度)	千葉県における健康 福祉の取組と医療 費の見込みに関 する計画（医療費 適正化計画）（H 30～35年度）の目 標値に変更	
			特定保健指導	15.2% (H27年度)	45% (H35年度)		

(3) 糖尿病

No	目標項目	現状値 (H 年(年度))	目標値 (H34年度)	新たな目標値の 設定理由	データソース	
1	合併症(糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数)の減少	839人 (H27年末)	738人	—	(一社) 日本透析医学会 「慢性透析患者に関する 基礎調査」*患者調査に おける年度末患者数	
2	治療継続者の割合の増加	88.9% (H29年度)	95.0%	—	生活習慣アンケート	
3	血糖コントロール指標におけるコントロール不 良者(HbA1cがJDS値8.0%(NGSP値8.4%)以上 の者)の割合の減少	男性 (40~74歳)	1.2% (H27年度)	1.4%	—	特定健診・特定保健指導 に係るデータ分析
		女性 (40~74歳)	0.5% (H27年度)	0.6%	—	

(4) COPD (慢性閉塞性肺疾患)

No	目標項目	現状値 (H 年(年度))	目標値 (H34年度)	新たな目標値の 設定理由	データソース
1	COPDの認知度の向上	43.8% (H29年度)	80.0%	—	生活習慣アンケート

IV つながりを生かし、健康を守り支える環境づくり

No	目標項目	現状値 (H 年(年度))	目標値 (H34年度)	新たな目標値の 設定理由	データソース
1	地域のつながりの強化(居 住地域でお互いに助け合っ ていると思う人の割合の増 加)	(参考値:自分と地域のつながりが強い 方だと思う割合) 44.7% (H29年度)	65.0%	—	生活習慣アンケート
2	健康づくりを目的とした活 動に主体的に関わっている 人の割合の増加	(参考値:健康や医療サービスに関係し たボランティア活動をしている割合) 3.1% (H28年)	25.0%	—	総務省「社会生活基本調 査」都道府県別データ
3	健康づくりに関する活動に取り組み自発的に情報発信を行う企 業・団体の増加	119団体 (H29年10月末)	200団体	策定時と現状値の データを元に推計 し、H34年度の予 測値から目標値を 設定	Smart Life Projectの参画企 業・団体数